

職場に残そう、 労働運動！

国労千葉地本運輸区統合分会 SOGA班新聞

若者たちの意見交換会開催！

当区社員代表選挙や、ダイヤ改「正」を控え、お互いの意見交換で交流を深めようと、他労組の若者たちに呼びかけ、今月某日、某所において7名が集まりました。当班からは、鈴木、竜崎の2名が参加しました。

代表選挙は棄権ゼロをめざそう！

当区で、今月15日に投票が始まる社員代表選挙（職場過半数選挙）は、毎年立候補者所属組合の組織的に進められて



2013年の当区

い準備活動に驚かされています。その反面「職場内で選挙が盛り上がっていない、無関心が目立つ」という意見も出されました。これは私たちも同感ですが、最初から労働者意識（この言葉自体が時代遅れなのか?!）など持たずに入社してきた若い社員にとっては、ちんぷんかんぷんなのも無理はありません。とは言え、こういったことも少しずつ広めていくのも労働組合の使命かと思えます。

「選挙時期だけでなく、選挙を年間闘争として捉え、組織拡大につなげるチャンスとして考えてほしい」と訴えました。

不安だらけのこの会社、どうなるんだっ！

この会社は何処へ向かっているのか

おそらく殆どの社員が感じていることであり、現場管理者、更には支社社員でさえ明確に答えられないのではな

いかと思えます。そんな会社の無責任な状況で、将来展望もまなならない若い社員は、何をどう考えていったら良いのか分からず、早々に見切りをつけて、

結果も大事ですが、やはり職場の全員がこの選挙を大切なものとして考え、全員投票で棄権ゼロ、無効ゼロを目指したいと思えます。

他、選挙実施の詳細についての注意事項や、立候補した宗田さんを全力で応援する旨を確認

会社を去る・・・そんな事態も増えています。

ひとり一人が

労働者意識を持つて

こんな会社の暴走に歯止めをかけられるのは、労働組合の頑張りにはなりません。未加入の人たちには、是非自分の足元を見つめ直していただき、今のうちに分からないまま流されるのを終りにすべきではないでしょうか。



労働組合を強くするには、やはり組織の拡大は喫緊の課題です。また、ひとり一人が労働者意識を持ち、働かされずまにこだわることも大事です。若者たちの中には「労働」の付く「労働者」「労働組合」といった言葉に拒絶反応する人も多いという報告も驚きでしたが、職場を見ていると、残念ながら納得してしまいます・・・

労働組合に入りましょー！

☆ 「労働者意識」といった言葉が通用しないような時代になった・・・ということでしょうか？こりゃ大変だ！